

(第6条関係)
事業計画書

事業名	伝えたい大震災の記憶・ 学びたい大震災の体験の 講演会等イベント事業
団体名	東日本大震災復興支援 松戸・東北交流プロジェクト

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

「困った時はお互い様」を合言葉に本年1月、サロンの開設が実現しました。開設から半年を経て、当初の目標避難者同士の交流・松戸市民との交流は課題を果たしつつあります。お蔭様で松戸市民・市内の団体の来訪と支援は感謝しています。

避難者の方々も先の見えない中ですが、市民と溶け合う場面を見るようになりました。

ところで、私たちサロン運営者は本来の目的『避難者の自立』支援に軸足を移しつつあります。そうした中で、避難者の方たちが過去に発揮していた力を語っていただけるようになりました。サロンの中で、楽しくお茶の時間を過したり、趣味の手芸に夢中になることも大切ではありますが、過去の能力を発揮できたり、収入の道を見つけたりすることは、広く外に出て市民との関わりを創ることが必要なことを痛感しました。

民間借り上げ住宅支援がいつまで続くか不明。その終止符が打たれた時、心の準備・資金の手当ても考えなくてはなりません。

上記のような主旨から、今回のイベントを企画することに致しました。

2. 事業を行うことでどのようなことを達成したいのか、どのような成果があるのか、成果目標を記載して下さい。(事業を実施した場合に得られる成果目標は、数値を用いて簡潔に記載して下さい。)

1. 避難者が震災の体験を語ることにより、松戸市民の中に溶け込む一歩となる
2. 松戸市民・団体は、体験を学ぶことにより今後の災害時の対応の参考となる
3. イベントの実施により避難者と松戸市民の交流の場とする
4. 大震災が忘れられないよう、繰り返し発信を続けることの大切さ
5. このイベントに参加者100名を目標とする

3. 事業内容を具体的に記載して下さい。

・事業内容

1. 主会場では避難者・松戸市民参加の講演会実施

表題 伝えたい大震災の記憶 避難者の報告

学びたい大震災の体験 松戸市民及び市民団体からの質問など

招聘計画 片田敏孝氏・群馬大学大学院教授（予定）

松戸市もお招きしたい

2. 別会場 パネル展示・写真展・模擬店などイベントの開催

・想定されるスケジュール（事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください）

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	講師の参加交渉依頼	9月初旬の講演会に向けて
5月	イベント準備会	サロン「黄色いハンカチ」にて 運営スタッフ・避難者・来訪市民
6月	イベント準備会	同上
7月	イベント準備会	同上
8月	イベント準備会	同上
9月	シンポジウムの実施 防災の日近くにぶつける	市民会館 301 室他 2 室 松戸市危機管理課もお招きしたい
10月	反省会	
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

4. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

講演会などイベントの効果

1. 松戸市民も災害時の対策を市民レベルで学ぶ。家庭でもどのような対策を講じたらよいか話し合うきっかけとなる。
2. 避難者も、体験を報告する勇気を持つことで一歩松戸市に溶け込む。松戸市民に世話になっているという意識だけではなく役立っていることで松戸に住み続ける意義を見つける。
3. 大震災が忘れられないよう、繰り返し発信を続けることの大切さ。
4. 避難者主体による組織作り。
松戸市に根付いていただく。

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	松戸・東北交流プロジェクト拠出金	¥ 36,300	事業費の一部を団体かの会計より拠出
	自己資金合計額 (a①)	¥ 36,300	
	講座参加料		
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金 (対象外経費分) (a③)		対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 36,300	
	市 市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 136,300	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 50,000	外部講師謝礼 50000×1名
	印刷製本費	¥ 34,000	①広報チラシ枚・②ポスター・③当日資料 ①10円×2000枚・②30円×300枚・③10円×500枚
	消耗品費	¥ 10,000	①展示用パネル・②会場装飾消耗品 (カラーペン・折紙・印画紙) ①500円×10枚・②5000円
	使用料	¥ 6,300	会場使用料 630×6時間3780 210×2×6時間2520
	賃借料	¥ 10,000	プロジェクター・スクリーン 1式
	通信費	¥ 16,000	切手代 80円×200枚
	保険料	¥ 10,000	当日の行事保険 100円×100人
	対象経費の合計 (D)	¥ 136,300	
その他経費	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 0	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 136,300	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。
- 4 助成金 (B) が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。